

- ねがい ◎保育者の祈りを通して、自分も友だちも神様に愛されていることを（子供の姿） 繰り返し聞く。 ◎自分の思いを表現しようとする。又思いが通らないことを経験したり、共感されたり、安心したりする。 ◎砂や泥、水の感触を味わったり、素足で遊んだりしながら、思いっきり、楽しんで遊ぶ。
- （保育者） こまめに水分補給、暑さの中での熱中症、感染症など健康状態に留意する

○家庭とは.....心理学者、カウンセラー窪寺俊之氏

教育講演会（2016年）

「家庭とはどんなところ？ 安らぎの場、和（なご）む所？

仕事柄、カウンセリングに来られる方々の訴えを通して教えられることは企業、学校、家庭などの現実が厳しすぎるという事。誰もがそれぞれの生きる場所で、やり場のない苦しみ、悲しみを抱えているという事。

○解決の糸口はどこにあるのか。家庭を変えるしかない。

自分を応援してくれる両親の心が、家庭にはある。ケンカをして帰ると、自分の味方をしてくれる両親の姿を背後に感じる。この感覚が大切。

本当の意味で甘えられる家庭が必要。（甘やかすとは異なる）

家庭は心を育てる所。優しさ、強さの心を育てるところ。甘えたい、依存したい、けれども甘えられない子供がいる。甘える行為には勇気がある。両親がドンとかまえて抱きかかえてやるのが大切。子どもはどんなに傷ついても癒されていく。それをバネとして変わっていく。

家庭は生きていく「基本＝ルール、マナー」を身につけさせる所。ルールを知らないと、社会で生きていけない。仲間が作れない。人と人とのつながりの基本は家庭から。親であっても、子供との約束は守る。

○生きていくには「優しさと強さ」が必要。両親の役割がある。社会で強さが出せるのは、背後に自分をそのまま受け止めてくれる家庭がある。

人間が生きていくには、パンもお金も家も必要だが、なぜそれだけでは生きられないのか。人生の労苦、挫折、悲哀、病、死、その他数えきれない人生の重荷は、人間の力、お金、物だけでは負いきれない。それが人生の実相、現実です。」

7月も<生活習慣>早寝、早起き、朝ごはん。心を鬼にして9時までには寝かせましょう。継続は力、毎日繰り返し実行しましょう

^{あわれ}憐み深い人々は幸いである。その人たちは^{あわれ}憐みを受ける。